

センター長退任に際して

有田 五次郎*

情報科学センター長として、2期、4年の任期を無事勤め、安在新センター長に引き継ぐことが出来ました。これはひとえに関係各位のご協力の賜です。歴代運営委員、専門委員の先生方、本部事務局、学部事務部、その他の関係各位に心からお礼を申し上げます。

ご承知のように、本センターは情報工学部の創設と一体として計画され、情報工学部の学年進行に合わせて整備されました。この4年間に、まずセンターシステムを導入し、引き続き、知能情報・電子情報、制御システム・機械システム、生物化学システム各学科の教育研究用システムの導入を行い、この間キャンパスLANの整備、飯塚キャンパスのキャンパスオートメーション構想の推進、さらに次期センターシステムの選定と、まさにこの4年間はずっと創設期でありました。もちろん、学科の教育研究用システムの選定、運用に関しては、各学科にかなりの責任を持ってお願いしていますが、それにしてもこの間のセンター教職員の労苦は多大なものでした。ご苦勞をねぎらい、あらためて感謝します。

さて、次期センターシステムは、ホスト計算機を持たない、unix・ウインドウ環境の完全分散システムです。システムの提案に関係した各メーカーによれば、教育を主体とするこの規模のセンターで完全分散系を導入しているところは、日本はもちろん、世界でも例が無いとのことで、先導的実験と言えるでしょう。計算機システム発達の動向、今後の情報処理教育のあり方等を勘案しての決定であります。このシステムの運用に関してはセンターにもう一頑張りをお願いしなければなりません。また分散系の運用のポイントはネットワークで、戸畑地区のLANの整備も重要な課題として残っています。

種々の問題を解決して、よりよいセンターにして行くためには、センター教職員の努力も必要ですが、それと共に周辺からの協力が不可欠です。センターの次期システムの方向付け、仕様作成、技術審査に際しては、15名以上の情報工学部、工学部の若手の助教授、助手の方々に、文字どおり手弁当で、何度も深夜にわたる検討会に参加して頂きました。特に戸畑キャンパスの先生方は、わざわざ飯塚までやってきて、センターが用意した弁当を（弁当代を払って）食べての参加であった。まことに有難いことで、この協力関係がある限り、センターの将来は大丈夫と意を強くした次第です。心からお礼を申し上げます。

最後に、安在新センター長の元、情報科学センターの益々の発展を祈念して、退任のご挨拶といたします。皆様長い間ありがとうございました。

* 情報工学部知能情報工学教室 arita@ai.kyutech.ac.jp